

# テーマパークのノウハウは どんなビジネスにも役立つ

レジヤークンダクター® 杉崎 聡紀 さん

世界でただ一人、レジヤークンダクター®の肩書きを持つ杉崎聡紀さん。開業前から19年勤めた合同会社ユー・エス・ジエイでの経験をもとに、テーマパークのすごさ、仕掛けなどのノウハウを講演。講演数は2015年からすでに50本を超えており、さまざまなビジネスのヒントになると好評だ。

杉崎がテーマパークに興味を持ったきっかけは、中学生時代にまで遡る。叔父の家



を訪れていた杉崎は、書棚に手を伸ばし、何気なく一冊の本を手にとった。タイトルは「東京デイズニールランド驚異の経営マジック」。テーマパークのさまざまな仕掛けに魅了され、「遊びに行く側から作る側になりたい」と夢を抱くようになった。

テーマパークへのあこがれを抱き続けた杉崎は、多摩大学に進学し、そこでレジャー産業経営論を学ぶ。一方で、学生アルバイトとして(株)オリエンタルランドの面接を受けたが採用には至らず、デイズニーストアのキャストとして働くことになった。ここでキャラクタービジネスの基礎を身につけることになる。

いよいよ就職活動の時期を迎えたが、(株)オリエンタルランドは最初からあきらめ、応募しなかった。なぜなら、時は就職氷河期の真っただ中。当時は有名大学出身者でないと受からない狭き門だったからだ。

ただ、ホスピタリティーの仕事に就きたいと思っていた杉崎は、就職活動的のをホテル業界にシフト。そんな折り、思いがけないチャンスが訪れた。

「大阪にハリウッドの超大型テーマパークが出来る」

さつそく合同会社ユー・エス・ジエイに応募。見事に内定を勝ち取った。

新卒1期生の杉崎が最初に配属されたのは清掃部門。そこで、来場者にとって当たり前なきれいなパークを維持することすら、実は大変な仕事であったことを痛感する。アトラクションの責任者になってからは人材育成のノウハウを学び、瞬時の判断力が身についた。その後もエンタランスのマネージャー、チケット販売戦略、業務改善・分析など裏方にも携わった。

パーク運営のあらゆる部署を経験して得たノウハウを引っさげ、2019年に独立してレジャーコンダクター®に。約600種類もの仕事で支えられるテーマパークの仕掛けや仕組みなどのノウハウを講演し、ときには(株)D研究所の加賀屋克美さんとも共同でセミナーを開く。

現在、特に力を入れているのは学生へのキャリア教育だ。質の高い人材を育成することで、上質なテーマパークに成長していく。すると、そこで働きたいと思う人も増え、

業界が生き生きしていくという思いからだ。

最後に、夢がまだ見つからない子どもたちに向けて、杉崎がメッセージを送っている。

「無理に夢を見つけたり、早く見つけなければ、と焦ったりしなくてもいい。夢は大きくないといけない、立派な人間にならないといけない、と背伸びする必要なんてない。例えば、健康に長生きできますように、でも大丈夫。夢を気軽に考えて、なんなら途中で変えてしまってもいいので、どんどん目標を設定していこう」

【メモ】2019年に著書「テーマパーク・アミューズメント事業 知っておきたい最新トレンドと成功の秘訣（セルバ出版）」を出版し、Amazonのレジャーの産業研究ランキングで1位に輝く。またYouTubeチャンネル「レジャーコンタイム」、音声配信アプリス

タンドエフエム「レジャコンタイムラジオ版」では、テーマパーク以外のビジネスにも共通するキーポイントを放送している。

1978年生まれ。神奈川県出身。中学生時代に叔父の家で見つけた書籍「東京ディズニーランド驚異の経営マジック」を読み、テーマパークのお兄さんを目指し始める。大学時代は多摩大学にて「レジャー産業経営論」を学ぶ。卒業論文は、「滞在型レジャーのススメ〜テーマパークという選択肢〜」。在学中にディズニースタアでキャストを4年経験した後、2000年に合同会社ユニエス・ジェイに新卒一期として入社。2015年にレジャコンダクター®としての活動をスタート。講演や研修講師として活躍中。